イベントのお知らせやご報告など

癒しの家だより

＼ローンの組み方で返済額が数百万円変わる！／

住まいづくりの勉強会

次回開催 7/17(日) 8/21(日)

時間 10:00～12:00

参加費 無料　定員 3組程度

お申込 7月16日(土)/8月20日(土)までに

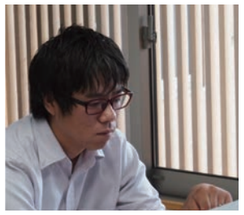
お電話またはメールにていただけますと幸いです。

セミナー内容（抜粋）

- マイホーム検討の第一歩は適切な予算の把握から
- 初心者様にお勧め！適切な住宅購入の予算の計算方法は!?
- マイホームを購入するタイミングは?あなたの場合はいつ?
- 「失敗する人」と「成功する人」の家づくりの視点の違いとは!?
- 金利動向etc...年金受給年齢からみたローン返済計画
- 住宅ローン破綻を避けて、返済負担を軽減する方法
- その他、個別相談も対応いたします♪

Vol.01 設計士、自邸を建てる。

壺谷建設、入社13年目の設計士が、ついに念願のマイホームづくりをはじめます！
設計士ならではの視点やこだわりなど、皆様のお家づくりの参考になるところがあればと思い、お家の完成までをこのコーナーでお伝えしていくことにしました！



設計士　多田 知樹　37歳

家族構成…夫婦、子供1人、猫5匹（保護猫を預かることがあるので、増えたり減ったり）

今年で入社13年目です。入社当初は材料の名前や尺貫法（日本古来の計量法）が分からず、大工さんに「寸五角の材料」と言われても毎回「cmでお願いします」と困らせていましたが、今ではちょこっとだけ分かるようになりました。

INTERVIEW

マイホームを建てようと思った理由は？

設計士になろう！と思ったときから、自分の家を設計して建てるのが夢だったので。

どうしてこのタイミング？

マイホーム計画はずいぶん前から立てていましたが、気に入る土地がなかなか見つからず…やっと気に入った土地が見つかった！と思って購入しようとすると『昨日売れました』という事件が2回もあり、3回目でやっと手に入りました。なので、予定よりもだいぶ遅くなってしまいました。

どんなお家になる予定？ずばり一言でいうと？

「細長い家」！

土地選びのポイントは？選んだ理由は？

最終的に選んだのは新婚当初に住んでいた町で、自分にとって住みやすく、思い入れもあったのでここに決めました。あとは「気に入るか、気に入らないか」という直感や感覚に頼る部分が大きいかもしれません。

譲れないポイントTOP3を教えてください。

①ＬＤＫなどの家族が集まる場所が広くしたい
②家の中をぐるぐる廻れること
③庭を楽しみたい

意気込みをお願いします！

家族8人（うち5匹）のためにがんばります！

5月30日、地鎮祭と業者様との顔合わせ会を終え、いよいよ本格的に工事が始まります！
次回、間取りを公開！
お楽しみに♪

癒しの家

壺谷建設株式会社

〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬4番地1

☎0875-74-3881

info@tsuboya.jp https://www.tsuboya.jp/

建設業許可番号：香川県知事許可（特-30）第1181号

つぼや流が必要ない場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

インスタやってます!!

TSUBOYAKENSETU_CO.LTD

11号線沿い「癒しの家」看板が目印

2022年7月号
盛夏号
vol.96

つぼや流

新常識！夏の大掃除

お宅訪問 Vol.42
［日常にいくつもの感動を宿す海の風景］

冬は暖かいけど…夏は暑いの？
高気密高断熱住宅のギモン。

伝統建築より学ぶ「暮らしの知恵」
採光も通風も防犯も叶える「面格子」

- 癒しの家だより - 住まいづくりの勉強会

NEW 設計士、自邸を建てる。vol.01

キッチン周りの油汚れ掃除

冬になると、油汚れが硬く固まり、落としにくくなってしまいます。
夏は油が緩くなり落としやすいので、コンロ周りや換気扇、レンジフードのお掃除に最適です！

ベランダ、バルコニー、玄関などの水掃除

冬の屋外での水掃除は寒くて億劫ですが、夏なら気持ちの良いものです。
たっぷり水をまいても、水はけもよくすぐに元通りに渇きます。
また打ち水効果で室内も涼しくなり、一石二鳥♪

新常識！夏の大掃除

大掃除は年末にするもの、と思いがちですが、実は夏は掃除に適した季節なのです！年末大掃除の負担を減らすためにも、夏の間に済ませておきたい掃除をご紹介します。こまめに水分と休憩を取りながら、熱中症に気を付けて行ってくださいね。

窓、サッシ、網戸など開閉が増える場所

窓を開け閉めする機会が増える夏ですが、ホコリによる網戸の目詰まりは大問題！風が通らないだけでなく、ホコリが室内に入り込みます。
水を使っての掃除が苦にならない季節に、しっかり洗っておきましょう。

カーテンやラグなどの洗濯

カラッと晴れた日は、カーテンやラグなどの大型の洗濯物を干すのにぴったりです。気温が高く日も長いため、あっという間に乾いてしまいます！
乾きにくい洗濯物は夏のうちに洗いましょう♪

お宅訪問 42 日常にいくつもの感動を宿す海の風景

今回は三豊市詫間町でリフォーム工事（竣工 2021.12）を行なった、F 様にお話を伺ってきました。

― どのような経緯でリフォーム工事に至ったのですか？

子育てを終え、夫とふたりで暮らす終の棲家を思い描いている時に、私の地元で目の前に海が広がるオーシャンビューの中古物件に出会いました。今後の生活のことを考えると大きすぎるのでは…と迷いましたが、発想の転換で子どもや両親、友人など “人が集える家” にすればいいのではないかと思い、いつでも人を招くことができる住まいに全面リフォームすることに決めました。

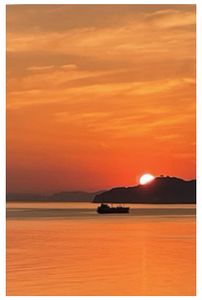
― なぜ、弊社をお選びいただけたのでしょうか？

家の購入手続きをして半年以上経っていたのですが、その頃インターネットで見つけたのが壺谷建設さん。地元での評判もよく、私の父が先代の社長と同じライオンズクラブに所属していたことにも縁を感じて工事をお願いすることにしました。

― リフォームするにあたって、こだわった所はありますか？

築 50 年の鉄筋コンクリートということもあり、冬の寒さが心配でした。断熱性能を高めることと薪ストーブを取り入れた“火のある暮らし”をリクエスト。室内の雰囲気は和モダンをイメージして素材や色合いを決め、手持ちの照明やインテリアが合う空間に仕上げていただきました。お気に入りの絵画を飾りたくて、最後の最後に床の間の色を変えてもらったことも印象深いエピソードです。色をブレンドして作った茄子紺はシンプルな絵にしっくりと馴染んでいます。

― 実際、住んでみていかがですか？



断熱性能を大幅に向上させてもらったおかげで寒い冬も温かく過ごせます。薪ストーブに火を入れると床までじんわり温まるので、真冬でも T シャツ一枚で寝っ転がっている人がいました (笑)。1 階からも 2 階からも海が見えますが、夜は星空も見え、また早朝にカーテンを開けると朝日が海と空をオレンジ一色に染めて、息をのむ美しさです。海外旅行でいろいろな土地に足を運びましたが、これ以上の風景に出会ったことがありません。

― 弊社の家づくりについてどう感じましたか？

家づくりは今回で 4 軒目。工務店もさまざまですが、壺谷建設さんは対応もしっかりされていて、大工さんの施工技術も高いと思います。打ち合わせ中は県外に住んでいたので、3 時間前後のオンライン面談を 5 回行いました。遠隔でも納得するまで話し合いを重ね、私が立ち会えなかった薪ストーブの火入れ式も ZOOM 経由で見ることができました。また、壺谷建設さんでは伊礼智さんのモデルハウスを建設中ですが、たまたま私も伊礼さんの設計集を持っており、住まいに対する価値観や方向性が似ていていたのもいい家づくりができた理由なのかもしれません。

― 家づくりをお考えの方にアドバイスをお願いします。

家づくりは相当のエネルギーと予算を使うもの。家を作っている時はもちろん、住みはじめてからも満足できるように、しっかりとしたイメージを持ってどんどん伝えていくことが必要です。壺谷建設さんはその要望に答えてくれる会社ですし、納得できる家づくりを叶えてくれるはずです。

冬は暖かいけど…夏は暑いの？

高気密高断熱住宅のギモン。

熱を外に逃がさない性質を持つ高気密高断熱住宅。冬は暖かいけれど、「**夏は熱がこもって暑いのでは？**」と不安に思われる方も多いのではないでしょうか。

魔法瓶をイメージしてみてください。中に入れたものの温度が保たれるという特徴がありますよね。これは熱いものに限らず冷たいものも同様。同じような性質を持つ高気密高断熱住宅でも、一度室内の空気を冷やしてしまえば、その涼しさを長時間快適なまま保つことができるのです。高気密高断熱住宅で夏を快適に過ごすポイントは２つ。

「日射遮蔽（日射しの熱を遮ること）」と、**「エアコン・除湿器を利用すること」**です。

窓から太陽光の熱が入ると、高気密高断熱の性能が働き、熱が外に逃げなくなります。よって、窓からの日射はできるだけ遮り、熱を入れずに室内の空気を冷やすことが重要です。

室内が一度涼しくなれば、そのあとはエアコンの設定温度を上げたり「弱」モードに切り替えたり、と消費電力を減らしても OK。外気温が上がっても、快適な室温を保ってくれます。エアコンは設定温度を 1 ℃変えると消費電力が 10 ～ 13％下がると言われているので、夏の光熱費もぐっと抑えられますよ。

エアコンは我慢せずにON

すだれやカーテンで日射を調節

深い軒の出は高気密高断熱住宅との相性◎

省エネ運転で電気代もおトクに♪

伝統建築より学ぶ暮らしの知恵 採光も通風も防犯も叶える「面格子」

ブラインドの役割を果たしながらも、採光や通風は確保できる格子。その機能性とデザイン性は、古くから日本建築に取り入れられてきました。

日本建築における格子の歴史は、飛鳥時代からはじまります。大陸より寺院建築が伝わった際に、窓の細工として用いられたことが格子の始まりと言われており、現存する最古の例は、7 世紀前半の飛鳥時代（西暦 607 年・推古天皇 15 年）に建立された法隆寺の西院伽藍回廊の「連子窓」（れんじまど）とされています。

安土桃山時代になると、格子は防犯の役割も担うように。治安が悪く物騒だったこの時代、多くの「洛中洛外図屏風」（京都の市街と郊外を描いた都市図）の中にも、格子が施された町家が見られます。

外から室内が見えにくく、室内から外の様子がよく見える格子は、防犯だけでなくプライバシーを守るためにも重要な存在でした。

西院伽藍回廊「連子窓」

出典：ウィキメディア・コモンズ，著作権者 :Nekosuki, CC BY-SA

ちなみに、壺谷建設の事務所の窓にも格子が取り付けられています！事務所内から駐車場が見渡せるので、来客の様子などがよく分かります。逆に外から内部の様子は見えにくいので、仕事中も外からの視線は気になりません。当社にお越しの際には是非ご覧ください♪